

# 隣保館だより

2023年1月  
発行 新発田市隣保館  
住吉町2丁目3-28  
TEL/FAX 26-5984

11月15日、3年ぶりに、地域のお茶の間「寄せ植え体験教室」を開催しました！

県立新発田農業高校の生徒が育てたシクラメン、ビオラの寄せ植えを地域の皆さんと一緒に行いました。寄せ植えをしたあとは、花の育て方について農高草花コースの先生から教えてもらい、それぞれ自宅へ持ち帰りました。



久しぶりの高校生との交流に参加者も楽しそう!(^^)!



熱心に地域の方に指導する農業高校の生徒さん

## 2022 しばた人権フェスティバル

12月18日、新発田市生涯学習センターでしばた人権フェスティバルが開催されました。

今年は、解放社会学研究所所長の江島修作さんを講師に、「もう少しだけスピードをあげて 人権の「世界の流れ」に追いつくために」と題し、講演をいただきました。

講演では、差別やいじめは「いま、ここ」で起きていることであり、教育や啓発を行う上で、過去の難しい歴史や、差別のない理想社会といった未来の夢物語を語るのではなく、リアリティを伝えることが大切だと話されました。

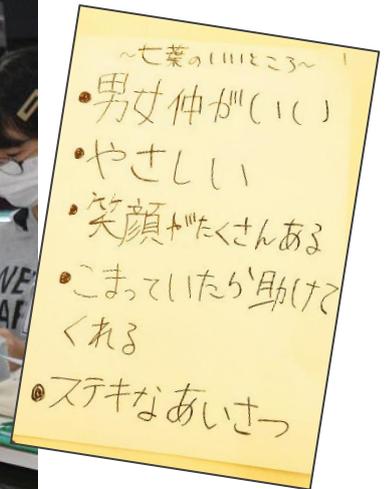


会場内では、各団体のパネルも展示されました。



隣保館利用者も大勢参加しました。

# 七葉小学校 6 年生が隣保館に来館 (11月25日)



七葉小学校の、いいなと思う事を話してください。との問いかけに、こどもたちは、「あいさつがいい」「男女関係なく学年関係なく仲がいい」「困っていたら助けてくれる」「話を聞いてくれる」「人権学習と心のメッセージがあること」とみんな笑顔でうれしそうに答えてくれました。



七葉小学校の6年生が、隣保館で人権学習を行いました。館内に展示されているパネルや部落差別問題と隣保館の役割について真剣に学んでいました。「みなさんには、みんなさんが苦しかったり、つらかったりした時に話を聞いてくれる人はいますか？(あなたにとってのキャッチャー)はだれ?の質問に、(複数回答)

- ① 家族…28人、「自分のことを一番知っているから」「困った時はたすけてくれるから」「自分の意見を理解して、解決できるよう感じるから」「自分の話を大切に聞いてくれるよう感じるから」「いつもいっしょにいるから、身近にいるから」「最後まで話を聞いてくれるから」
- ② 友達…10人 「いつも一緒にいてくれるので安心できるから」「なかなか親にも先生にも話せない話も、友だちには安心して話せるから、気楽」「いつも笑わせてくれるから」「どうすれば良いかを一緒に考えてくれるから」「共感して受け止めてくれるから」
- ③ まだいない…7人 「相談したいことがまだないから」「自分の気持ちをあまり言えないから」「自分の気持ちを言えるような友だちや大人に会えるまで、自分が言えるようがんばる。」
- ④ 先生…3人 「場合にもよるけど、友だちとのトラブルは先生もその子を知っているので話しやすい」「どう解決すればいいのか相談できるから」

自分の気持ちをつたえることが大切だね！  
だれかのキャッチャーになれたらうれしいね。